

葛藤のなかで自分を変えたいともがいた小・中学校時代

幼少期のことは、正直に言うと昔すぎてあまり思い出せません。家の中で家族とわいわい遊ぶのが好きな子どもでした。でも、小学校に入って家族以外の人と接するようになると、悩むことが増えていきました。

小学校時代の自分は、自分でも「あまり良くなかった」という印象です。感情のコントロールがまだ難しく、自分からカッとなってしまうたり、人と喧嘩やトラブルになったりすることが多かったからです。1年生の頃は35点、5・6年生でも45点くらい。50点には届かない、沈んだ気持ちで過ごすことも少なくありませんでした。

中学校に入ると、最初は新型コロナウイルスの影響で学校に行けなくなってしまい、5月くらいからようやく学校生活が始まりました。中1のときは60点にはいかない50点代。でも、支援級で過ごしながらか部活に入部したことが、自分にとって大きな転機になりました。

部活の練習中、通常級のクラスの人からも「頑張れ！」と声をかけられたことがありました。クラスの枠を超えて、同級生や後輩と仲良くなれたのは、すごく嬉しい瞬間として心に残っています。そうやって友達の輪が広がるにつれて、モチベーションも中3には66点くらいまで、少しずつ上がっていきました。

実習と部活で磨き上げた「折れない心」と「コミュカ」

高校生活は63点からのスタートでした。最初はやっぱりコミュカや対人関係が苦手で、すごく悩みました。部活でも、最初は「辞めたい」という気持ちがあったんです。でも、そこから自分なりに工夫して、今の自分は88点まで成長できたと感じています。90点に近いけれど、あえての「88点」です。

特に大きかったのは、高校2年生の7月から始まった実習です。最初は「もっとコミュカがないとダメだ」と痛感する時期もありました。でも、自分の得意なことだけじゃなくて、得意じゃない業務内容もちゃんと体験して、学んでいけたことが今の自信につながっています。郵便局での実習を経て就職が決まったのも、こうした経験があったからだと思っています。

実習が始まった直後に宿泊学習があったりして、あの頃は本当に大変でした。でも、実習を通して自分から発信したり、他の人と協力したりする力がついて、評価も70点、そして今の88点へと右肩上がりに上がっていきました。

自分の強みは、成長し続ける力

これまでの歩みを振り返って思う僕の強みは、2つあります。

1つ目は「コミュニケーション能力」です。昔はトラブルばかりだった僕が、今では自分から発信し、周りとの協力して物事を進められるようになりました。苦手なことから逃げずに、コミュニケーションのモチベーションを高く持ち続けて成長できたことは、僕の誇りです。

2つ目は「体力」です。中学・高校と6年間、陸上部で自分を鍛え続けてきました。この体力と健康維持の習慣は、社会人として働く上でも大きな武器になると確信しています。

ティーンズの後輩のみんなへ

僕は4月から社会に出ます。ティーンズに残っている皆さんも、それぞれのペースで次のステップへ進めるよう祈っています。

一つアドバイスを伝えるなら、先生やスタッフの方のアドバイスを「聞く力」を大切にしてください。人の話をしっかり聞いて仕事に取り組むことで、自分の評価は必ず上がります。僕も卒業しますが、新しい場所で頑張ります。皆さんも、自分を信じて頑張ってください。

S.Sさん

高校：私立高校 ⇒就職

利用時期：2023年10月～ 参加プログラム：週末お仕事体験

ティーンズで行っていたこと：お仕事体験や実習の振り返り
